■■ 令和6年度 甲府市立甲府商業高等学校学校評価計画書(自己評価・学校関係者評価)

学校目標・経営方針 民主的で平和な国家社会の形成者として、心身ともに健全な個人の人格完成を目指し、かつ知・徳・体の兼ね備わった近代的経済人の育成を図る。個々の能力や個性の伸長を図り、責任を重んじ勤労を尊び、社会の進展に即応できる専門的識見と進取の態度を養う。

本年度の重点目標	1. 主体的な学びによる学力向上 (1)自ら学習に取り組む態度を育てます。 (2)実践的・体験的な学習活動に取り組みます。 (3)教育活動全般を通じて、商業教育を行います。 (4)高い資格を取得するための力を養います。
ケースジェボロ係	2. 社会で活躍できる人づくり (1)勉学と部活動の両立を図り、心身ともに健全な人づくりを推進します。

	Α	ほぼ達成できた。(8割以上)
達出	В	概ね達成できた。(6割以上)
成度	С	不十分である。(4割以上)
	D	達成できなかった。(4割以下)

(1) 勉学と部活動の両立を図り、心身ともに健全な人づくりを推進します。 (2) 地域や企業と連携し、地域社会を活性化する活動に取り組みます。 (3) 社会人・職業人として自立するために必要な能力や態度を向上させる教育を実践 します。 (4) 就職や大学等の進学に向け、個々の進路希望に応じた指導を丁寧に行います。

		(4)就職や大字等の進字に向け、個々の進路希望	-ルしに拍导を丁寧に打いより。			
				自己評価		
		本年度の重点目標		年度末評価(令和7年1月31日)		年1月31日)
号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	自己評価結果	達成度	成果と次年度への課題・改善策
		・基礎学力の定着と、主体的に学ぶ態度の養成のための指導方法の工夫や改善を図る。 ・主体的・対話的で深い学びの授業を展開する。 ・親の評価により、生徒および教師のPDCAサイクルを回し、マネジメント品質を高める。	・相互授業参観及び研究授業の 実施 ・授業アンケート	・基礎学力を定着させるために、1、2年次において少人数展開や習熟度クラス分けができる体制をとれるよう配慮している。 ・主体的かつ対話的な授業展開をし、生徒が深い学びをするために、それぞれの教科で学んだことを有機的に結びつけ、学習活動全体の成果として実生活に関連づけられるよう、各教科において教材を工夫している。	В	・生徒の進路希望に合わせた科目選択が可能となるよう、教育記程の内容を検討し、生徒の進路実現を目指している。 ・進路意識の高揚をはかれるよう学習環境を整える。 ・生徒が早い段階で自己について考えるための時間を設け、進 に関いて科目(教科)履修ができるような教育課程編成を検 討していく。
		・3年生「課題研究」において、"山梨を知る"をテーマにそれまでの学習を基礎にして、実践的、体験的な学習を通し、生徒が自ら課題を発見し解決する過程を通して、サポートをしながら主体的に物事に取り組み、探究する力を育てる。	ト及び発表 ・課題研究発表会 ・地域課題探究コンペティ ションへの応募 ・授業振り返りシート	・"山梨を知る"をテーマに、生徒たち自らが課題を発見し、解決策見い出して取り組むことが出来た。アンケート調査や保育園で原見で無値により、実際に廃校活用をしている北杜市に見ずに行ったり、と各分野でそれぞれ仮説をたて、検証し、結果を導き出していた。また、各分野の代表グルーブは地域課題探究コンペティションにも応募をし、3月の予選通過に向けて取り組むなど新たに挑戦している。		・2年生の2月に各分野の説明を行い、意識を高めた上で3月中には自分がどの分野で課題解決に向けて取り組んでいくのかを決め、4月より活動がスター七来るようにする。・例年とは大幅に変更をしていく。具体的には、株式会社study valleyと提携し、探究的な活動を企業と連携を図りながら行ってく。また、甲府市環境部及びセブンーイレブン・ジャパンとも提携し、生徒たちの活動を市内や県内に発信していく。・次年度は、今までよりも外部との連携を図った活動を行い、探的な学びをよりー層深めていく。
1	主体的な学びによる学力向上	・適切な観点別評価ができる授業実施に向けた校内研修、授業観察の充実を図る。 ・職員の授業改善への意識を高める。 ・BYODの利活用を進める。	・相互授業参観による研修・授業アンケート	・授業力向上と観点別評価の適正化に向けて校内研修を12月に実施した。参加率75%。 ・相互授業参観を5月に実施。公開実施率・参観実施率とも 100%	В	-BYODを利用した評価の実施率を高める。 ・年度当初の相互授業参観を継続する。
		・授業を大切にしながら節目節目での検定試験を利用し、学力向上を確認する。日頃の学習の理解度、到達度を確認する。学力に応じたきめ細かい指導をする。 ・高度資格試験合格への支援体制を進める。	・各種検定合格状況 ・振り返りシート及び授業アンケート	・日々の授業を大切にして、自己の学習到達度を確認するために各種検定試験にも積極的に挑戦している。各種検定試験においては、学力向上に向けて課外できめ細かい指導をするように努めている。 ・高度資格試験への挑戦を積極的に促すだけでなく、研修などを通して教員のスキルアップに努め、合格に向けての支援体制を整えるようにしている。	В	・教育課程編成の見直しや生徒の進路実現に必要な体制を検していく。 ・卒業まで三冠を目指すことが出来るように商業科全体で生徒促していき、生徒の希望に応じた支援が出来るように努める。 ・授業アンケートの実施を受けて、授業改善に努めるようにする ・高資格希望者に対応できるような研修が用意されているが、別 飲的な教員が今年度も受講し、スキルアップに努めることが出た。
		・主体的に活動計画を立てて実践するとともに、部・委員会活動をより活発に展開することにより、豊かな人間性を育成する。 ・商業教育の実践体験の場となるような甲商デパートの実現を図る。	・甲商デパート来場者へのアンケート	・生徒会活動では、生徒たちが主体的に活動実践を行っていた。 各部や委員会も、校外の各種大会や発表会だけでなく、甲商デパートや紫紺祭(学園祭)で発表を行った。 ・研究研修と連動したデパートに関する講演会を聞いたり、クラス主体となって店舗経営を実践したりすることで、商業教育の実践体験としての甲商デパートを実現した。来場者アンケートでは、生徒の接客に対して「大変良い・良い」は71%。	В	・活動計画については、紫紺祭会場を途中で変更したり、生徒会での生徒の意見を取り入れたりといったこともあり、どうしてき手後手に回ってしまった。来年度はYCC県民文化ホールでの3 施となるが、昨年度同所で実施した際の計画を元に、ある程度見通しをもった計画が立てられるようにする。また、生徒一人ひりが主体的に活動できるように尽力する。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
2	: 社会で活躍できる人づくり	・経済や社会への興味関心を高める講演会を実施し、「甲商デパート」の開催に向けて商業の魅力、ピッネスマナー等の商業活動を多面的かつ実践的に学び、商業と実学を結び付け、社会で活躍できる人づくりを行う。	・行事アンケート	・甲商デパートの探究学習として商売・販売に特化した講習会を 2回実施した。生徒アンケートから甲商デパートに向けて意識高 く取り組むきっかけとなっていることが伺える。	В	・内容も回数も授業とのパランスを考慮すると、次年度も同じよ に実施することが望ましい。
		・道德教育を通して交通ルール・マナーを含めた規 範意識や社会性の高揚を図る。 ・交通事故違反件数を昨年度(22件)の80%以内を 目指す。 ・基本的生活習慣を身につけさせ、時間厳守の徹 底を図る。 ・挨拶の励行を図る。	フィードバック	・全生徒に向けての講話や全教職員の日常の指導により、服装や挨拶は良好であるが、一部の生徒においては時間を守るといった規範意識や、社会性に関して今後継続して指導していく必要がある。また、交通事故件数は現時点で11件(自転車9件、原付2件)で、昨年度より半減しており、目標達成ができた。しかし、自転車や原付の運転についての交通マナーに関する苦情の電話は無くならなかった。	В	 全教職員の共通理解による統一指導を徹底する。特にSNS記方法などを含め豊かな心の育成を目的に道徳教育の推進してく。 ・交通ルールの順守および、引き続き交通事故・違反防止の徹を図る。
		・生徒一人一人の適性に合った細やかな指導を行い、就職・進学とも100%希望通りの進路実現をさせる。 ・行事や学習を振り返る機会を意識させ、意見を論理的に述べる力をつけさせる。 ・保護者への情報提供の機会を充実させる。	模擬試験の活用・ガイダンス参加のサポート	・担任を中心に個別面接を繰り返し、生徒の適性と希望を考慮した進路決定をさせることができた。 ・看護・医療系に希望のある生徒は、計画的・継続的に課外を実施し、知識を補完できた。 ・3年生に個別面接指導や作文・小論文指導を徹底し、個に応じた指導ができた。 ・論理的な思考やその表現力をつけるために、作文・小論文模試の実施や、振り返りシートを活用した。 ・保護者への情報提供充実のため、保護者説明会や三者懇談時の資料配布会を実施した。	В	・個人面談を充実させ、生徒の適性と希望にあった進路指導を い、生徒、保護者とも納得する進路実現100%を目指す。 ・課外や模試を実施するとともに、それらの活用する力を育てる ・資格取得の奨励を行う。 ・論理的思考や表現力の育成のため、振り返りやその記述の覧 保央について各教科、各学年と連携する。 ・外部団体が主催するガイダンスやイベントなどの参加を促し、 い視野で物事を捉える力をつ育てる。 ・保護者への情報提供の機会を充実させる。

甲府市立甲府商業高等学校校長 田中 雅明

	4	良くできている。
評	3	できている。
価	2	あまりできていない。
	1	できていない。

	学校関係者評価
	実施日(令和7年2月18日)
評価	意見·要望等
3	・学びと社会とを結びつけ、観点別評価を学習意欲の向上に繋げていってほしい。 ・基礎学力定着は最も重要だと思います。また、進路実現につながる学びや考える時間も多く取入れ、議論を深めて頂きたいと思います。 ・生徒の進路希望に向けて、1・2年次の早い段階で考えるための時間を設けることで進む方向への科目選択ができるとよいのではないでしょうか。 ・まず、主体的に学ぶ事は、とても大切で、意義のある教育目標だと感じました。私も、会社で『君ならどうする?』と聞き続けます。そして、主体的な行は、『よく気が付いてくれた』と褒めています。とにか、時間がかかる事だと思いますが、是非 進めて行って欲しいと思います。 ・対話的な授業として、さらに生徒の自発的な挙手や質問が増えると嬉しいです。
4	・(地域) 社会に目を向け、知識を知恵に換える体験学習の場にしていってほしい。 ・生徒が自ら課題を発見し解決する過程をサポートし、探究心を育む「山梨を知る」課題研究も良いと思います。地域課題探究コンペへの挑戦も意欲良い経験になったと思います。次年度は企業や地域との連携を強化し、学びを深めて頂きたいと思います。 ・"山梨を知る"というテーマの課題研究はとても良いと思います。様々な分野に目を向け、たくさんの外部と連携を図ることで新たな発見や学びが出ので良いと思います。 ・自分が育った環境を、好きになる事は、マイナス要素も含めて、一旦好きになることだと思います。『山梨は終わってる』とか言っている大人を見て、いと言える様になって欲しいものです。大人が山梨のコミュニティーで輝いている姿を見せる必要があると思います。良い試みだと思います。 ・甲府市立の高校として、どのようなメリットがあるのかも生徒に伝えていき、地域貢献に生かしていただきたい。
3	・ICT機器を学習活動の道具として、そのさらなる有効活用を追求していってほしい。 ・意識改革とスキルアップに繋がる良い取り組みだと思います。特に相互授業参観の100%達成は、教員間の協働意識の高さを物語り、学びに対するらしい事だと思います。 ・先生方の校内研修、相互授業参観による研修も必要なことなのですね。それにより授業力向上につながるのですね。今後とも、継続していただけた思います。 ・パソコンを使うことは、賛成です。使えないと話にならない時代ですから当然ですが、結局一番大切なのは、こんな感じで将来使えるかもってイメー・ることだと思います。ワクワクさせて終了です。企業がどんな形でパソコンを使っていて、こんなに楽になりました、こんな事もできるようになりました。 生徒が問題に思ったときにあれば応用できるかもって思えば良い。 ・引き続き研鑚していただきたいです。
3	・授業が検定合格に向けた単なる答案作成練習の場にならないよう留意してほしい。 ・授業を大切にしながら節目での検定試験を活用し、緊張感を高める。学力向上を目指す取り組みは今後もさらに続けてほしいです。課外指導や高・ ・授業を大切にしながら節目での検定試験を活用し、緊張感を高める。学力向上を目指す取り組みは今後もさらに続けてほしいです。課外指導や高・ ・格試験への支援体制も充実しており、生徒の挑戦を後押ししていると思います。 ・近年、各種検定の合格者が減少しているように思います。卒業までに少なくとも全生徒が三冠を取得できるくらいにスキルアップできるとよいと思い ・検定への取り組みは、大賛成です。簿記は、本当に学んで良かったと思います。 いろんな検定は、将来に、いろいろな役に立つと思います。気軽に言える事でもありませんが。 ・年々、三冠獲得者が減少しているようにも思えます。
4	・生徒会活動が「人間形成」と「生きる力」を養成する機会となるよう検討してほしい。 ・生徒会活動が部活発で、生徒が主体的に活動できている点は素晴らしいです。甲商デパートも実践的な商業教育の場として成功しているとます。このイベントを心待ちにしている甲府市民や卒業生の多さに驚きました。また、駐車場や会場の問題など時代の潮流に合わせ対応策が練られ事も素晴らしいと思います。 甲商デパートは完売対策として前年度の販売予測や来場予測、商品選定や仕入れの改善対策練り、過剰な在庫を持たないように予測して当日に最の利益を出すためブラッシュアップする事は、リスクがあります。しかし、リアルな商業教育の学びにつながるだけでなく、成功したときの充実感や満済得られと思います。そして、商業の面白さにも触れ、興味や関心を深めてもらい甲府商業だからできた経験を得て頂きたいです。 ・甲商デパート・紫紺祭とその年により会場が変更となることで戸惑いはあります。駐車場問題もあり大変だと思いますが・・・今年度は大きな問題もな護者も参加できてよかったです。 ・座学も大切ですが、机の上にはない別の感動が、本当に自信になります。 いいては、主体性にも繋がると思います。「人の役に立つ喜び」は良い学び。先生方のご負担とても大きいと思いますが。 ・甲商デパート、素晴らしい教育、商業実践だと思っています。
4	・社会人基礎力と実践力を養う機会となるよう、年間指導計画を工夫してほしい。 ・経済・社会への興味関心を高める講演会と、甲商デバートに向けた講習会は、生徒の商業意識を高める上で有効な手段だと思います。生徒アンケらも、その効果が伺えます。次年度も同様の取り組みを継続し、授業とのパランスを考慮しながら、更なる内容の充実を図ることを期待しています。 ・甲商デパートに向けての講習会はとても良いと思います。物を売る大切さ、接客マナー等々、専門家の方々からのお話を聞けることは大きな学びて実践することもできるので良いと思います。 ・外部講師の授業は、とても良いと思います。実際にどの様に現場でパソコンが使われているのかも、含めて、聞いて見ても良いし、その講義を毎年先生方は、その知識が蓄積されて、それを、生徒に話せえることも意味があると思います。 ・引き続き、外部からの講習会を実施していただきたいです。
3	・規範意識や道徳性、豊かな心の育成に向け、共通理解・同一歩調で指導してほしい。 ・規範意識や社会性の高揚、交通事故減少は素晴らしい成果です。しかし、一部生徒の規範意識や交通マナーへの苦情は課題として残ります。今後教職員の共通理解による統一指導を徹底し、SNS活用方法を含めた道徳教育の推進に期待しています。 ・服装、挨拶、時間厳守は学生問わず大切なことなので、今後も継続していただきたいです。自転車、原付の事故も多いので、未然に防ぐためにも総ていただきたいです。 ・事故件数は減ってきたが、ヘルメットの努力義務化において着用率は伸びたのか?下がったのか?その指導ができているのか?
3	・進路情報を1年時から生徒と保護者に提供し、3年間の見通しを立てやすくしてほしい。 ・進路実現100%を目指した丁寧な指導はありがたいです。特に課外指導などは生徒の夢を後押ししていると思います。ただ、教職員の働き改革を考え負担が多くなる取り組みが多いと思います。 今後も個人面談の充実、課外・模試の活用力育成、資格取得、論理的思考力育成に向けた教科連携、外部ガイダンス参加促進、保護者への情報お実などに期待しています。商業高校出身でない父兄の場合、就職の情報に乏しく、子供からの情報だと、甲府商業から就職する「強み」をあまり理解いません。また、そのような企業に就職できる「価値」を生徒が今以上に感じることができれば資格試験に取り組むモチベーションアップにもなると感いた。 ・就職・進学ともに100%。各々の進路に向けての個別面接で、多くの生徒の希望に合った進路を実現できていると思います。面接指導、小論文指導の時間を作っていただき、生徒たちも自信を持って臨めたと思います。 ・早い段階「2年生」でオープンスクールに参加することは良いことです。 お菓子の専門学校にも、実践事視、資格接得事視、競争事視、楽しスタイル等々思惑と違って中退するケース多いそうです。1校でも多くの体験入学

(1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。

(2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。